

2022 年度

《小規模多機能型居宅介護 サービス評価》

さくらまち

事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-②⑥⑦)
総括表

令和5年3月31日
小規模多機能型居宅介護 さくらまち

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 11日 (17:30 ~ 18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	5人	2人	10人

前回の改善計画
「～したい」を具体的に聞き、(行動を見て) 共有していく

前回の改善計画に対する取組み結果
3年前に設定した目標また、職員の異動もあり忘れていたが、現在、利用者さんとの会話の中で聞いたことは、バイタル帳に記録し他の職員と共有できた事もあるが、計画だけで実現できない時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	4	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	6	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	8	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	5	1	10

できている点

- ・本人、家族からの話は聞くように心掛けている。
- ・毎月、管理者、相談員、計画作成担当者の会議 → チーム会議 → 職員会議を重ね、利用者さん一人ひとりの振り返りを実施している。

できていない点

- ・“本人の望む意向”は「家で暮らしたい」とは理解しているが、それに対しての具体的な目標が職員に周知できていない。
- ・モニタリングが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・管理者、相談員、計画作成担当者の会議で変化のある利用者さん (サービスの見直しが必要と思われる方) を2名選びチーム会議で話し合い、職員会議で確認する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 11日 (17:30 ~ 18:30)

6. 連携・協働

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	5人	2人	10人

前回の改善計画
医療機関や他の事業所との会議の参加は難しいが、資料の回覧は確実に出来るよう置き場所を決める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者さんや外部の方に個人情報が見られない場所に置き場所は決めた。 ・回覧内容が職員に情報が伝わっていないので、確認遅れ、確認忘れがあった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	5	0	5	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	3	1	6	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	3	0	6	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	7	1	2	10

できている点
・地域の行事 (掃除 総会 旅行) には職員が順番に参加出来ている。 ・イズムリンク (医療連携システム) を活用して医療と連携が取れた。 ・子育てボランティア、地域の主婦などが途切れる事無く来てくれている。

できていない点
・コロナの影響で各機関・団体の活動イベントが中止になっている。

次回までの具体的な改善計画
・地域の行事には、引き続き職員が交代で参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 11日 (17:30 ~ 18:30)

7. 運営

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	0人	9人	10人

前回の改善計画
ランチの会 (さくらまち 江戸町 おいなんよ) に職員が同席し、顔なじみになり、意見を聞く機会にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ感染拡大前は、さくらまちランチは職員が交代で参加していたが、感染拡大と同時に同席は難しくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	2	6	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	9	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	4	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	5	2	2	10

できている点
<ul style="list-style-type: none">利用者、家族からの意見、想い、苦情はバイタル帳に記録を残し、その日に対応する。職員会にて職員全員で確認している。運営推進委員の方と一緒に消防訓練 (ジンリキの使い方等) や、ランチ、旅行で地域の方と顔を合わせる機会がある。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">ヒヤリハットがあった場合、記録忘れ、確認忘れがあり、全職員が内容を知らない時がある。地域からの苦情を聞ける機会がなかなか取れない。職員が小規模多機能の強みがわかっていないのでは?

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">ヒヤリハットを見える化し、同じ事を繰り返さないために、原因・対応策を職員全員に通達する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 おいなんよ	代表者	佐藤 敏子	法人・事業所の 特徴	コロナを体験したことで多職種との連携に感謝しかつ重要だと痛感し、日ごろから多職種との関りを大切にと考えております。”いつもと同じ“に感謝し、1歳から99歳の仲間が集い、四季を感じていただく事を重視し、口から食べられることを大切に考えており、仲良く“同じ釜の飯”を頂いております。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 さくらまち	管理者	櫻井 弘子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	7人	人	4人	1人	人	2人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	2:「～～したいの実現」 6:連携・協働 7:運営 3項目取り組む	3項目に絞ったことで、日常の業務をしながらも取組み、全職員出評価・確認が出来た。	来年度も3項目に取り組む方が良いのでは 努力目標は大事である	さくらまちの現状から、12項目より3項目を選んで取り組む
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内をBCP対応するため工夫する。 コロナ対策をしつつ、ボランティアを招く。	BCP(災害編)を作成する中、室内の安全確認、改善実施をしたボランティアさんにも、毎日の検温・体調観察を実施した。	交流会も中止となり、事業所に入ったことが無いので、しつらえや環境が分からない。	事業所内を見ていただく計画を立てる。 事業所の昼食を食べていただく機会を計画する
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事・会議には交代で職員が参加する 職員から挨拶をする	コロナで中止となる行事があったが、掃除、総会、旅行は職員が順番に参加し、地域の方との交流が出来た。	掃除に参加してくれて顔見知りにはなったが、名前が分からない。 名前はわからないが、元気の良いあいさつをしてくれます。	引き続き地域の行事には職員が順番に参加する 異動があった時は、職員から名前を伝える
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ドライブを行い、四季の変化を楽しむ 地域の商店・公園など利用者さんと一緒に活用する。	車椅子使用の方でも、近所のバラや桜並木の見物が実施出来た。 地域の菓子店に、利用者さんと一緒に買い物に出かけた。	地域包括ともよく連携してくれている。地域資源の発掘、ボランティアも積極的にやって頂いて良い。	ランチを継続し、地域の方の情報収集に取り組む 個別に地域に出掛け四季を楽しむ
E. 運営推進会議を活かした取組み	さくらまちの1年間の活動動画を作成し、運営推進委員会で発表し、様子を見て頂く。	公民館にて、1年間のさくらまちでの様子を動画にして見て頂いた。	スライドショーを見せて頂き、中の様子がわかって良かった。	1年間の様子を動画にして、見ていただく 事例検討の実施をし、助言をいただく
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に参加する 消防署員の指導で消火・避難訓練の実施を行う ジンリキの紹介をする	中止になってしまう行事が多かった。防災計画書・BCP(感染症編)を運営推進委員に配布が出来た。	日頃の事をしながら、BCP等やらなくてはいけない事が多くて、大変ですね。 発電機が設置され大変安心です	地域の防災訓練に参加する BCP(災害編)の見直しをし、運営推進委員に配布する

